

# 保健・福祉

# 一般質問

医療型  
短期入所事業所

### 市内での開設に向け市の取り組みは 専門職による助言体制の構築など



**石原みさ子議員**  
(創生市川・自民党)

医療型短期入所事業所を市内に開設することは、医療的ケアが必要な人たちの悲願であり、約20年前から毎年、市へ陳情書が提出されている。そこで、市は同事業所の開設に向けてどのように取り組んでいるのか。

**答** 県内には、病院や介護老人保健施設等でサービスを提供できる医療型短期入所事業所が22カ所ある。令和8年4月に市内では初めて県から同事業所の指定を受けた施設が八幡地域に開設されることになっており、現在、県、市、事業所の三者で協議を重ねている。市は、事業所の開設に向け、専門職による助言体制の構築等の支援を引き続き行う。

2月定例会では、23人の議員が一般質問を行いました。各議員の持ち時間は1人60分(答弁含む)です。ここでは、1人1項目を選び質問・答弁を要約し、分野ごとにまとめて掲載しました。

※2月定例会の一般質問は、2月18日に通告を締め切り、3月6日から5日間の日程で行いました。  
 ※議員氏名の左の会派名は、一般質問実施時点のもので、会派に所属していない議員については氏名のみ掲載しています。  
 ※2次元コードから一般質問の動画をYouTubeにてご覧いただけます。ご覧いただけない場合は、恐れ入りますが議会事務局議事課までお問い合わせください(047-712-8673)。

# 保健・福祉

若年性認知症

### 家族交流会の開催の現状は 家族交流会を含め支援を検討



**小山田なおと議員**  
(公明党)

若年性認知症には、就労や子育てなど、高齢者の認知症とは異なる課題があり、当事者だけでなく、配偶

**答** 市では、令和5年度に

者や子どもなどへの支援も極めて重要と考える。そこで、同じ悩みを共有できる家族交流会の開催について、現状と今後の方向性を問う。

**答** 市では、令和5年度に

者や子どもなどへの支援も極めて重要と考える。そこで、同じ悩みを共有できる家族交流会の開催について、現状と今後の方向性を問う。

当事者や家族が参加できる本人ミーティングを計画したが問い合わせはなく、開催には至らなかった。若年性認知症に関する相談件数は8年1月末現在で12件と少ないが、家族への支援は重要と考えており、交流会を含め、情報を集約している。事例も参考に検討していく。

子どものインフルエンザ

### 8年度の予防接種費用助成の概要は 不活化ワクチンの接種等に対し助成



**つちや正順議員**  
(いちかわ市民クラブ)

令和8年度当初予算において、子どものインフルエンザ予防接種に対する費用助成の概要を問う。

**答** 本助成は、インフルエ

ンザの発病防止や重症化予防を図ることが目的である。対象は、接種日現在で本市に住民登録のある生後6カ月から小学校6年生まで、上限額は、不活化ワクチンが1回当たり1500円、経鼻生ワクチンが3000円、助成対象の接種期間は、8年9月1日から9年1月31日までを予定している。

予防接種の費用助成

### 将来的に安定的な実施は 年度当初から予算を措置していく



**丸金ゆきこ議員**  
(地域政党チームいちかわ)

本市における子どものインフルエンザ予防接種の費用助成は、恒久的な制度ではなく、状況対応型の施策

として行われてきたが、令和8年度の当初予算においては、費用助成に係る経費が計上された。そこで、将来的な費用助成の実施について、市の見解を問う。

**答** 7年2月定例会において、助成制度の確立を求める決議が可決されたこと等を踏まえ、8年度からは特殊な状況に対応するのではなく、市民の意見等を聴き、市長が本市の施策として感染症対策の充実を図るため、年度当初から予算を措置し、費用助成を実施していくこととしたものである。

介護保険の生活援助

### 担当者による誤差はないのか 担当者会議で合意形成を図っている



**沢田あきひと議員**  
(新しい流れ)

国は、一人暮らしの人や同居する家族等が疾病等で家事を行うことが困難な人等を介護保険の生活援助の

対象者としている。サービス内容の判断は担当者により誤差が生じると思うが、公平に対処できているのか。

**答** ケアマネジャーは利用者の自宅を訪問して同居家族の状況等を把握し、ケアプランの原案を作成した上で、利用者やその家族、サービス事業所の担当者が集まる担当者会議において合意形成を図り、サービスを開始している。また、状況が変わった際は、その都度担当者会議を開き内容が見直されるため、利用者も納得していると認識している。

# 道路交通

市道0231号

### 空地を活用し歩行空間の安全確保を 詳細設計で検討 関係部署と調整する



**越川雅史議員**

市道0231号の春木川沿いの区間には、道路幅員が極めて狭い上に歩道が未整備の部分があり、歩行者

の安全性が懸念されている。本道路の拡幅計画を県が地元で説明してから約30年経過しているが、事業は滞りが極めて狭い上に歩道が未整備の部分があり、歩行者

の安全性が懸念されている。本道路の拡幅計画を県が地元で説明してから約30年経過しているが、事業は滞りが極めて狭い上に歩道が未整備の部分があり、歩行者

の安全性が懸念されている。本道路の拡幅計画を県が地元で説明してから約30年経過しているが、事業は滞りが極めて狭い上に歩道が未整備の部分があり、歩行者

駐輪場

### 駐車需要を満たしているか おおむね満たしている



**久保川隆志議員**  
(公明党)

本市には、定期使用及び一回使用の駐輪場が存在するが、それぞれの駐車需要は満たしているのか。また、

地下駐輪場に設置されている2段ラックは使いづらく、その声があるが、現状及び今後の方針について問う。

**答** 令和8年度分の定期使用申請結果では駐車需要を満たしている。また、2段ラックについては重量がある自転車を上段に持ち上げるのが困難となっていることから、今後、自転車を容易に昇降できるものに更新していきたいと考えている。

満たしているが、一回使用の駐輪場は八幡地区において駐車需要が上回っており、その他の地区は空きがある状況である。また、2段ラックについては重量がある自転車を上段に持ち上げるのが困難となっていることから、今後、自転車を容易に昇降できるものに更新していきたいと考えている。

改正道路交通法

### 小中学校生への周知をどう進めるか 文書の配布と交通安全教室を実施



**つかこしたかのり議員**  
(創生市川・自民党)

令和8年4月1日施行の改正道路交通法では、15歳以下は青切符による取り締まりの対象とはならないが、

交通違反に対しては、警察から再発防止のための指導警告を受けることとなる。そこで、今回の交通ルール厳格化を小中学校生への周知の対象とはならないが、

交通違反に対しては、警察から再発防止のための指導警告を受けることとなる。そこで、今回の交通ルール厳格化を小中学校生への周知の対象とはならないが、

交通違反に対しては、警察から再発防止のための指導警告を受けることとなる。そこで、今回の交通ルール厳格化を小中学校生への周知の対象とはならないが、

信号機の移設

### 県へ働きかけを行う考えは 相談があった際は協力していく



**門田直人議員**  
(れいわ・無所属・共生の会)

中国分小学校西側の道路は外環道路の開通により交通量が急増し、安全対策として信号機の移設が望ま

れている。令和8年1月に地元自治会長等と連名で市川警察署に要望書を提出したが、当該要望書の提出を

している。令和8年1月に地元自治会長等と連名で市川警察署に要望書を提出したが、当該要望書の提出を

している。令和8年1月に地元自治会長等と連名で市川警察署に要望書を提出したが、当該要望書の提出を